

様式第2号（第8条関係）

会議の概要報告（案）	
1. 会議の名称	令和8年度 第1回 甲賀市青少年自然体験活動推進委員会
2. 開催日時	令和8年6月29日(月) 18時30分～20時00分
3. 開催場所	甲賀市甲南青少年活動センター 会議室
4. 議題	・令和8年度「甲賀市青少年活動安全誓いの日」条例に伴う事業実施計画について ・甲賀市青少年自然体験活動振興計画等について
5. 公開又は非公開の別	公開
6. 出席者	《委員会委員》 日本ボーイスカウト滋賀連盟

委員5名全員出席により、会議が成立していることを報告。

「令和8年度甲賀市青少年自然体験活動振興計画に基づく事業実施状況及び振興計画の改定について」
意見交換

委員長： ただ今、事務局の方から多岐にわたる事業項目についてご説明をいただいたところで
す。それでは、委員の皆さんからのご質問やご意見を伺いたいと思います。

1. 議題「令和8年度 甲賀市青少年活動安全地帯の日事業 実施計画について」

委員長 私からの質問であるが、7月11日の研修会（青少年活動セミナー）の周知は、どのよ
うに行っているのですか。

事務局 青少年市民会議の加盟団体すべてにチラシを配布しています。あわせて、地域の自治振
興会等にも周知し、多くの方に声をかけています。

委員長： その他の事業の周知は、具体的にどのような方法で進めているのですか。

事務局： 青年リーダー研修については、登録制度であるため対象者に直接周知しています。水辺
の安全教室やキャンプ等は、市内の全小中学生にチラシを配布しています。また、広報、
F a c e b o o k、L I N E、あいコム放送等も活用しています。ライフジャケット購
入補助金については、学校へのチラシ配布に加え、市内の販売店10店舗ほどにチラシ
設置を依頼しています。

委員長： 現在、青年リーダーとして登録されている人数は何名ですか。

事務局： 現在は16名です。大学進学等で入れ替わりはありますが、ここ5年ほどは10名以
上で推移しています。

委員長： 青年リーダーの具体的な活動状況や、今年の状況はどうですか。

事務局： 5月、6月のデイキャンプでは、毎回4名程度のリーダーに協力いただきました。事
前に安全教育やメニュー作りの研修会も実施しています。大学のテスト期間等と重なる
時期は参加が少なくなりますが、非常に頼りになる存在です。

2. 議題「甲賀市青少年自然体験活動振興計画等の改定について」

委員長

振興計画の改定にあたり、この委員会はどのような形で関わっていくことになりますか。

事務局：

令和9年度に、委員会に対して計画改定の諮問を行う予定です。委員会で内容を審議いただき、その意見を反映して素案を作成します。その後、パブリックコメントを経て策定する流れとなります。来年度は開催回数が増える見込みですので、ご承知おきください。

委員長：

専門職（自然体験指導員）の継続性や後継者の問題について、市としての見通しはどう考えていますか。特定の個人に頼りすぎている面はないでしょうか。

事務局：

市としては、自然体験活動を甲賀市の社会教育の大きな特徴として捉えており、現在の体制を維持していく方針です。社会教育課だけでなく、公民館事業との連携も深め、組織全体で取り組んでまいります。

委員：

ボランティアやリーダーの育成も重要ですが、最近は若者の意識も変わっており、継続して関わってもらうのが難しい現状があります。30代、40代のリーダー層が薄いのも課題です。

事務局：

その通りです。計画改定の中で、今の時代のリーダー育成のあり方についても現実的な手法を議論していければと思います。

委員：

現代の課題として、熱中症のリスクは深刻です。暑さ指数（WBGT）によって学校が休校になったり、外遊びが制限されたりしています。また、クマやサルの出没情報も増えており、活動場所の安全確保に非常に気を遣います。

事務局：

気候変動によるリスクや害獣対策は、16年前には想定されていなかった課題です。これらを新しい計画やマニュアルにしっかりと盛り込んでいく必要があります。

委員長：

マニュアルについては、実用性が重要です。分厚いものだけでなく、現場で使える簡易的なハンドブックのようなものも検討してはどうでしょうか。

事務局：

ご提案ありがとうございます。セーフティハンドブックのような、活動中に活用できるツールの作成も検討します。

委員：

一つ確認ですが、青少年団体が水辺公園等の施設を使用する際の使用料減免については、市としてどうなっていますか。

事務局：

施設の所管部署や条例によりますが、現状を確認して改めて報告いたします。

委員長：

最後に、会議の開催サイクルについてですが、予算が決まってから報告を受けるのではなく、検討段階で意見を反映できるようなタイミングで開催してほしいと思います。

事務局：

承知いたしました。事業サイクル（PDCA）の回し方についても、事務局で検討させていただきます。

委員長：

それでは、以上をもちまして令和8年度第1回甲賀市青少年自然体験活動推進委員会を終了いたします。